

ワクチン接種体制確保事業費などの補正予算を可決



6月定例会議案採決(議案第6号)

今回は	
報告	6件
市長提出議案	7件
請願	3件
議員提出議案	3件

令和3年度全体で売上達成率は94%

【報告第1号】 株式会社八幡平温泉開発の経営状況報告について

令和3年度全体の売上額は、8066万8千円で、計画額8559万円に対して94・2%の達成率となり、当期純利益は、574万3千円で、計画額50万円に対して524万3千円増となりました。

Q 株式会社八幡平温泉開発は、販売費および一般管理費の内訳があるのに対して、産業振興株式会社の決算報告は内訳がない。その理由は、産業振興株式会社の決算報告書は、あくまでも参考資料として添付しているため内訳はない。

A 産業振興株式会社の経営状況は赤字であり、販売費および一般管理費の内訳を提出するべきでは、どこまで参考資料として報告したらよいのか、改めて提出の仕方をこれから検討したい。

Q 産業振興株式会社の経営状況は赤字であり、販売費および一般管理費の内訳を提出するべきでは、どこまで参考資料として報告したらよいのか、改めて提出の仕方をこれから検討したい。

除雪作業における外路灯破損を報告

【報告第6号】 自動車事故の和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分報告について

市会計年度任用職員(除雪作業員)が公用車(除雪ドーザ)で市道滝沢線を除雪作業中、通行幅を広げるため路肩に接近したことにより、相手方所有の外路灯に接触し破損させたものです。

Q 職員の職務・安全管理について、指導や職員の使用状況に管理上の責任はないか。

A 早朝の除雪作業であり、特に厳しい状況で事故になったと認識している。再発防止に努めてまいりたい。

Q 和歌山に部落公民館館長とあるが、部落という用語は行政指導で使用を控えるようになってきているのでは。

A 今は部落という言葉についてはほとんど使うことがないので、部落の表記はなくなっていくように進めたいと考えている。

最新の住民情報システム機器導入

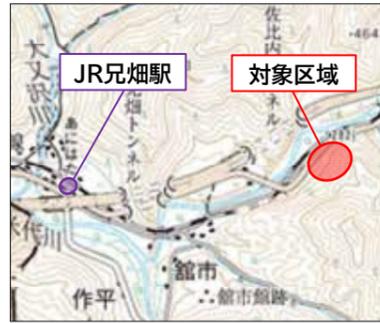
【議案第1号】 財産の取得に関し議決を求めることについて

住民情報システム機器を3713万4900円で取得するものです。5社の指名競争入札により、株式会社アイシーエスが落札。同社と契約し、令和4年11月30日を納入期限とするものです。

国交省が国有林取得のため字の変更

【議案第2号】 字の区域の変更について

国有林の一部を国土交通省が取得するに当たり、字の区域の変更をするものです。八幡平市赤平に編入する区域は、赤平57番に隣接する国有林の一部、赤平28番2等に隣接する国有林の一部、赤平54番等に隣接する国有林の一部の3カ所です。



字の区域の変更(八幡平市赤平)位置図

【議案第5号】 岩手山焼走り国際交流村条例の一部を改正する条例

ペットの同伴にも新たに利用料設定

岩手山焼走り国際交流村の料金の区分および額の見直しを行うため、所要の整備をしようとするものです。入場料を1泊につき小学生以上1人当たり550円、ペット同伴の場合は、1泊につき1匹当たり550円とし、団体(15人以上)は1割引とするものです。キャンプ場、コテージ、オートキャンプ場または特設キャンプ場を日帰り利用する場合の入場料および利用料金は、それぞれの宿泊の場合の入場料および利用料金の額と同額とするものです。

市に4千万円寄付 慎重に使い方検討

【議案第6号】 令和4年度八幡平市一般会計補正予算(第2号)

歳入、歳出それぞれ1億8316万8千円を増額し、歳入歳出予算の総額を193億3759万9千円とするものです。歳入・歳出の主なものは次のとおりです。

▼一般寄附金(歳入) 4000万円

▼新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(歳入) 3705万円

▼中学校における部活動指導員の配置事業(歳出) 146万円

▼児童手当等支給事業(歳出) 7459万円

Q 八幡平市ふるさと会の元会長である故工藤修氏から4千万円の大金を寄付している。ただ大変感謝している。市発展のために使ってほしいとのことだが、特定の事業に特化してはどうか。

A 高額な寄付になるので一度基金に積み立て、使い方については、総合計画のヒアリングなどで、慎重に検討していきたい。

Q 部活動指導員報酬について、4名の方が予定されているが、どこの学校の何部に配置されるのか。

A 西根中、松尾中、安代中のスキー部にそれぞれ1名を配置予定である。また、松尾中の吹奏楽部に1名予定している。学校側の要望も踏まえて、昨年度よりも充実した支援ができるように予算措置を行っている。

Q 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、交付金が8千万円以上残っているが、今後どのように活用していくのか。

A 副市長がまとめ役として各課と協議しながら、今後の支援策を取りまとめ、早い時期に提案をしていく。児童手当の対象者の人数と支給時期を伺う。対象人数を2470人と見込んでおり、7月の支給を目指している。

【請願第2号】 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度創設を求める請願書

補聴器購入支援は国が行うべき制度

▼産業民生常任委員会の審査結果
採択すべきものと決定
補聴器がさらに普及すれば、高齢になっても生活の質を落とさず心身ともに健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながるため、加齢性難聴者の補聴器購入について、全国統一の公的支援制度を国が創設することが望ましいと考える。

■本会議決議結果 採択

【請願第3号】 令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願

生産現場の実態と課題十分に検討を

▼産業民生常任委員会の審査結果
採択すべきものと決定

生産者が意欲を持って作付けし、将来にわたって安定的な営農・農地の維持が展望できるように、現場の課題を十分に検証し、制度設計ができるよう要望すべきと考える。

■本会議決議結果 採択

【請願第4号】 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択を求める請願書

教職員定数などの改善国に求める

▼総務教育常任委員会の審査結果
採択すべきものと決定
教育の機会均等に加え、教育現場で求められるように、さまざまな問題に対して、より一層きめ細やかな指導を行っていくためには、教職員の定数改善が不可欠である。国は義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかり、施策として、定数改善に向けた財源を確保し、厳しい地方自治体財政を緩和する必要があると考える。

■本会議決議結果 採択

【発議案第2号】 令和4年度の玉米政策における水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書

水田交付金改正で農地の維持困難に

今般、国から令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しが表示されている。特に、交付対象水田の扱いの大きな見直しについては、生産現場では農地の集積・集約に取り組みながら、産地づくりに取り組んできたなかで、交付対象から除外される農地が出ることに、農地の維持が困難となり耕作放棄地の増加につながるなど懸念の声があがっている。また、多年生作物に対する戦略作物助成の単価の見直しについては、現在、海外からの輸入乾草も高騰している状態が続いているなかで、令和4年度からの運用はあまりに急であり、現場に混乱をきたしている。生産者が意欲を持って作付けし、将来にわたって安定的な営農・農地の維持が展望できるよう、現場の課題を十分に検証したうえで制度設計がなされるよう要望する。

【発議案第3号】 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

35人学級の実施で豊かな学びを実現

岩手県内では、学級編制基準に基づいた定数内配置や育休者・病休者の代替措置が未充足であるなど慢性的な教員不足が生じており、教材研究や授業準備に支障をきたしている。また、いじめ、不登校や別室登校、貧困、ヤングケアラーなど複雑な家庭環境の問題が多様化・細分化し、より一層きめ細やかな指導が求められる。これらの問題に対応するために多くの学校が別室を設置しているが、その分の十分な人員は配置されていない。新型コロナウイルス感染症対策に伴う、新たな業務も教職員の多忙化に拍車をかけ、長時間労働の是正が進んでいない。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、学級編制の見直しによる、さらなる少人数学級の推進や基礎定数および加配定数の増員による教職員定数の改善が不可欠である。

一般質問

質問した事項

- 関 治人 議員 (八起会)……05
 - ・スポーツ振興について
 - ・デジタル化の推進と情報発信力の拡充について
- 渡辺 義光 議員 (市民クラブ)……06
 - ・市議選無投票と主権者教育について
 - ・ハロウ安比校との地域連携、草の根交流について
- 勝又 安正 議員 (八起会)……06
 - ・食料自給率向上に伴う農業再生基盤と国産米粉の振興について
 - ・桜松神社・不動の滝の観光振興について
- 外山 一則 議員 (八起会)……07
 - ・農業振興について
 - ・旧東大更小学校の跡地利用について
- 工藤 多弘 議員 (松西会)……08
 - ・大更駅周辺開発および大更駅前顔づくり施設について
 - ・農家経営の支援について
- 北口 功 議員 (無会派)……08
 - ・八幡平市の観光振興について
 - ・熊、イノシシ、鹿などによる市民生活や農作物の被害対策について
 - ・市内各小中学校におけるGIGAスクール構想の取り組みについて
- 高橋 悦郎 議員 (日本共産党)……09
 - ・県央ブロックごみ処理広域化計画について
 - ・市の財政運営について
 - ・市道等の軽舗装について
- 田村 正元 議員 (八起会)……10
 - ・観光振興対策について
 - ・子育て、定住対策について
 - ・市内全域の里山保全活動について
- 齊藤 隆雄 議員 (日本共産党)……10
 - ・田山地区へのパークゴルフ場公認コースの整備について
 - ・流雪溝設置・整備について
 - ・子育て支援について
- 熊澤 博 議員 (自由クラブ)……11
 - ・図書館事業の在り方について
 - ・水田活用交付金の見直しについて
 - ・高騰する飼料への対策について



せき ひろと 議員 (八起会)



現977登録数を拡大

防災アプリの運用拡充

問 防災無線が聞きづらいとの声があるが、複数の伝達方法としてLINEは有効だと思う。防災以外の情報も取り入れ、市内外に拡充するべきではないか。

市長 LINEについては、市の広報やチラシを配布するなどの方法で周知してい

く。また、防災無線との併用については、情報の内容を精査して対応する。

国体開催に向けて

問 スキー場や竜ヶ森峠、貝梨峠付近の携帯電話の環境が悪く、大会の開催に支障が出ている。対応策は。

市長 現状を調査し、事業者に要望していく。

問 田山体育館は以前から雨漏りが報告されている。屋根の形状が丸いため調査が困難とのことだが、ドローンを使うことにより調査はできると思う。国体に間に合うように検討しては。

まちづくり推進課長 振興協議会と情報交換をして前向きに検討する。

市長 時期が整ったら正式に県へ要望していく。

八幡平市公式LINEアカウントはじめました

市からのお知らせ・イベント情報
災害・火災・気象情報など配信

防災や暮らしに役立つ公式ライン

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



わたなべよしみつ
渡辺義光 議員
(市民クラブ)



無投票は市民自治の後退

主権者教育を活性化させる

問 4月17日告示の市議選は、定数20人を18人に2減したが、立候補者が18人で合併後初の無投票となった。無投票は市民自治の関心低下、後退でもある。市・教委・選管は、連携して市民の政治意識の向上と主権者教育を進めるべきである。

市長 議員のなり手不足は地方自治の根幹に関わる大きな問題であり、社会の課題である。新設の市政モニター等を通じて市民の市政参加・自治活動を強化する。

解決を主体的に担う生徒の主権者教育の充実に務める。**選挙管理委員会委員長** 自治意識の向上は、選挙が実施され市民の意見が市政に反映されることが望ましい。

大歓迎ハロウ生徒
問 英国の名門校ハロウインターナショナルスクール安比校は、8月29日に開校する。諸外国から訪日する多数の生徒、教職員を全市民で歓迎したい。同校との地域連携や草の根交流を進め、3年後の合併20周年に国際交流都市宣言をしては。

市長 世界のトップクラスのハロウ安比校は、本市の国際交流、学園都市としてのブランド力向上、知名度アップが期待される。交流人口や観光客の増加、経済波及効果につながるよう同校と連携協定を進めている。



1日限りのポスター(市内128カ所)



かつまた やすまさ
勝又安正 議員
(八起会)



桜松神社公園の観光振興

さらなる整備推進と対策

問 桜松公園への案内標識にまだ不備な点や不足がある。観光客が道を尋ねる事がないように誘導できる案内看板を設置してはどうか。

市長 不動の滝、桜松公園は市の貴重な観光資源となっている。案内標識の不備については、利用者が安心して訪れていたため必要と捉え、経路案内について、検討を進めていく。

も道路パトロールなどを強化し、情報収集に努め、対応していく。
問 市道桜松線の路肩、道路の草刈り、枝払いを以前より強化し、対策を取るべきではないか。

市長 例年、草刈りを3回、枝払いも行っている。今後

能力、生産基盤の状態などに具体的把握しているのか。
市長 担い手の現状能力については正確なデータは集計していない。認定農業者に将来へ向けて後継者や農地に関するアンケートを実施し、関係機関と連携し、支援を検討していく。



不動の滝への入り口



そとよまかずのり
外山一則 議員
(八起会)



旧東大更小学校跡地活用

県に対し継続要望中

問 平成23年に廃校になり今年で9年目になる。現在は東大更学童保育クラブに教室1室と大更コミセンが指定管理をして体育館を活用しているが、それ以外の教室やグラウンドは有効利用されていない状況である。市の旧校舎全体の活用につ

いての見解を伺う。
教育長 特別支援学校の分教室を誘致できないか、県に対し継続要望に努めている。過去に分教室が設置された例を見ても、数年からそれ以上に期間を要しているため、今後も粘り強く要望を継続する。

地産地消取り組み
問 八幡平市食材供給組合と連携し学校給食に地場産物を供給しているがどれくらい使われているのか。
教育長 組合の利用割合は令和3年度の金額ベースで35・44%となっている。今

後も引き続き組合と連携し利用拡大に取り組み。
オーガニックビレッジ宣言
問 持続可能な食料システム構築に向け、国では「みどりの食料システム戦略」を策定した。その中で有機



旧東大更小学校

農業産地づくり推奨事業である「オーガニックビレッジ宣言」の市の見解は。
市長 現在、取り組むことは考えていないが、有機農業に対する理解が必要であり、当市として生産技術の開発、他市町村の取り組みなど情報収集に努める。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



くどう たひろ
工藤多弘 議員 (松西会)



資材費高騰建設見直しは

情報提供受けながら検討

問 実施設計を進めている大更駅前顔づくり施設の階数見直しについて伺う。
市長 子育て支援施設や図書館などの機能を維持した内容で調整しており、階数を減らすことを検討している。
問 建設資材が高騰している中、建設費はどうなるか。

市長 資材の高騰に注意を払いコンサルタント会社などとも協議し、情報提供を受けながら検討を進める。
問 当市の実質公債費比率は、県下ワースト的な値になっている。財政運営の見直しが必要と思いが見解は。
市長 社会資本総合整備交

付金がかからない状況の中、合併特例債を活用している。地方債はほとんど発行せず、に有利な起債をもってこれまで財政運営をしてきた。
問 子どもたちに根付いている岩手山の心象風景を損ねる顔づくり施設は、本当に必要だと考えるか。

教育長 顔づくり施設が岩手山の心象風景を損ねるとは考えていない。施設の最上階には展望スペースも設けると聞いている。そこから岩手山を眺め、子どもたち、市民から愛され親しまれる施設になっていくものと確信している。



岩手山の風景を大切に(大更駅前)

交付金で農家支援
問 地方創生臨時交付金を活用した農家支援対応は。
企画財政課長 1億2千万円ほど交付金の情報があり、3千万円は子育て支援に残り、9千万円は各課に事業の問い合わせしている。



きたぐち いさお
北口 功 議員 (無会派)



(株)八幡平DMOの活動は

観光地域づくり法人活動

問 八幡平市の観光振興としてDMOの活動とその展望をどう捉えているのか。
市長 (株)八幡平DMOは平成30年に観光地域づくり法人として設立され、現在は5年度目の事業を展開している。

有効にする対策はあるのか。
市長 (株)八幡平DMOの役割はインバウンド需要の受皿として、観光庁など国の補助金を地域への投資として活用し有効な事業展開を継続することが重要である。

問 鳥獣害被害対策の電気柵購入費および狩猟免許取得に対する助成の実績は。
市長 電気柵設置への補助件数は元年度5件、2年度9件、3年度は13件である。狩猟免許新規取得費補助金は元年度4件、2年度2件、3年度は2件である。

問 捕獲用檻の貸出し数と捕獲率は。
市長 有害鳥獣捕獲用檻などは一般貸出しはない。捕獲業務は八幡平市猟友会に委託している。

GIGAスクール構想の取り組みは。
教育長 タブレット端末のICT機器を活用し、児童生徒がこれからの時代を生き抜くために必要な情報活用能力を育成するため、教員が総力を挙げて授業実践を積み重ねている。



泊食分離・ノーザングランデ八幡平



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員 (日本共産党)



財政の弾力性なぜ低下

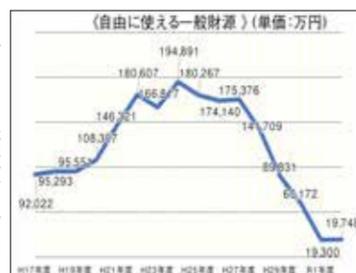
公債費の増加が主な要因

問 市財政の弾力性を表す「経常収支比率」が98.3%で合併後最も高い数値になっている。その要因は。
市長 地方交付税が減少している一方、大更駅周辺整備や市立病院建設などの借金返済額が増加したことによるものと捉えている。

問 自由に使える一般財源は、平成24年度は約20億円あったが、令和2年には約2億円弱まで減少した。このことで、各種補助金や福祉予算が削減されているのではないか。
企画財政課長 基金からの繰り入れなどで、財源不足

を補っている。前年比で減らないようにしている。
軽舗装について
問 市道などの軽舗装要望の未実施件数とその工事に必要な総事業費を伺う。
市長 昨年度末で97件、総延長は25kmで概算事業費は

3億7500万円と試算している。
問 多くの市民からの要望であり、平等の観点からも思い切った予算対応が必要ではないか。
市長 軽舗装の進捗率を高めたい思いはあるが一般財源だけでは難しい。今回



年々減少している自由に使える財源

新たに過疎債の活用を検討し、軽舗装の進捗率向上の突破口にしたい。
問 数年前までは、入札残の予算を使い、軽舗装予算の補正を行ってきたが。
市長 補正予算は緊急的なものへの対応を原則にしていきたい。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



たむらまさもと 田村正元 議員 (八起会)



世界に誇れる観光資源は

国内屈指パウダースノー

問 八幡平市の観光をイメージする時に一つだけ挙げるのであれば、何が一番の目的になるのか。

答 (株)八幡平DMOのホームページにある観光新聞のお知らせは、2020年10月から更新していない。また、インバウンド対応の英語版もない状況である。行政はチェックしているのか。

商工観光課長 DMOのホームページは、会社の紹介であると認識している。英語版は観光協会のホームページで案内をしている。また、更新状況がいたらない点は承知しており、今後は更新するように指導していく。

問 宅地整備で総合的子育て支援対策を

答 感じるが、定住促進という点で戸建住宅も含めた総合的な支援対策が必要では。市長 1人目から出産祝金50万円給付のPRを行い定住促進していく。宅地造成については、財政負担が大きいため、民間誘導を進める形で考えたい。



八幡平市はサイクリングにも最適



さいとうたかお 齊藤隆雄 議員 (日本共産党)



公認。パークゴルフ場整備

田山地区の活性化対策に

問 例年20回、毎回50人以上の参加で大会が開催されている。公認のパークゴルフ場を整備する考えは。

答 利用方法としてパークゴルフができるように整備を進める考えはない。文化スポーツ課長 パークゴルフは10センチぐらいの穴を掘るが、終わったら戻して。田山グラウンドで競技を行うのは支障がないと考えている。

問 流雪溝設置・整備

答 前に進めてこれなかったが、新規債を活用して進める。問 沢口地区の流雪溝設置・整備について伺う。

問 学校給食費無償化



田山多目的グラウンド



くまざわひろし 熊澤博 議員 (自由クラブ)



来館しやすい図書館像は 障がいのある方にも配慮

問 公共図書館は地域住民の交流や地域づくりの拠点となる場所として、機能していくことが重要とされる。また、誰もが来館しやすいように図書館環境を平等にという考え方が注目されている。視覚障がい者等利用への対応について伺う。

答 教育長 障がい者サービスに関する職員研修は受講しており、障がいのある方にも配慮しながら利用しやすい図書館を目指したい。問 岩手県立視覚障がい者情報センターと「サピエ」は、知的障がい者も含まれた全ての障がい者を対象

にサービスを提供していた。読書が困難な方にも開かれた図書館という点で、教育委員会の考え方を伺う。教育長 価値のあるご意見を頂戴した。全ての市民に親しまれ、通いやすい図書館にし、障がいのある方にとっても使いやすい施

設の在り方を目指し、これからの図書館像を探ってまいりたい。問 市立図書館の利用カードを持っている人が市民全体の18・8%しかないが。教育長 市内小中学生のカード所有率は70%なので、読書運動を見直したい。

サピエを利用できる人

- 視覚障害者
- その他視覚による表現の認識に障害のある人(学習障害、発達障害、知的障害等、読みの障害のある人)
- 寝たきりやまひ等により、資料を持ったリページをめくったりできない人

※公共図書館において登録が必要

「サピエ」活用で開かれた図書館

問 飼料等の高騰対策

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。